

人口減少に立ち向かう

「第2期 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました

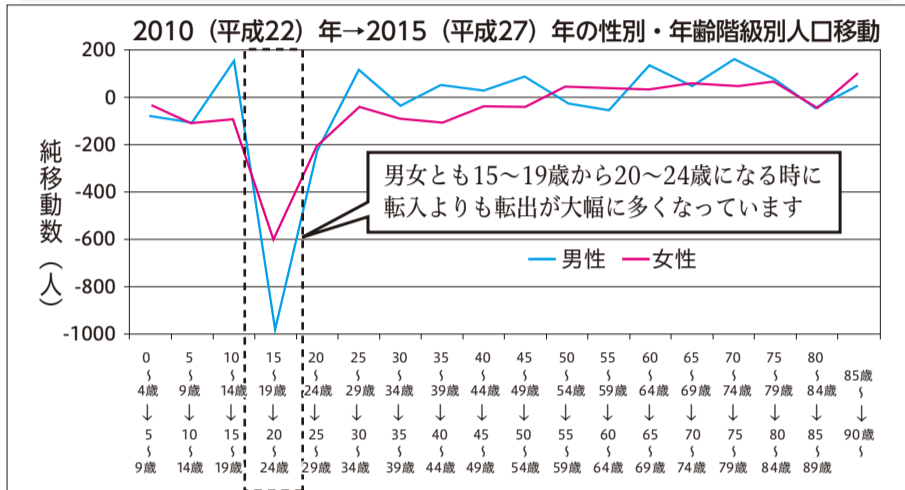
問合せ先 市役所都市経営課企画担当 (☎31-4502)

釧路市の人口の将来展望と人口減少対策をまとめた「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「総合戦略」)が5年間の計画期間を終えたため、切れ目のない取り組みを進めることが必要なことから、次の5年間(2020(令和2)年度~2024(令和6)年度)を計画期間とする、「第2期 釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

1. 人口ビジョンの概要(釧路市の人口の現状と将来展望)

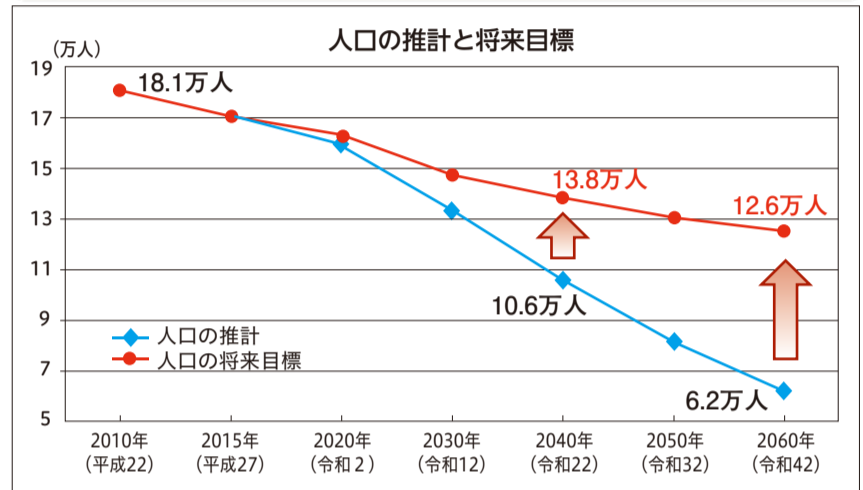
釧路市では、1980(昭和55)年をピークに減少を続けている本市の人口について、2040(令和22)年には約10万6,000人まで減少すると推計しました。第2期総合戦略の人口ビジョンでは、今後、さまざまな人口減少対策を行うことによる効果を見込み、目標とすべき人口を2040(令和22)年に13万8,000人とする将来展望を掲げています。

若者の転出超過が課題となっています



■人口減の主な要因は、若い世代の転出にあり、大学進学や卒業後の就職に伴う転出の影響が大きいと考えられます。

人口減少に歯止めをかけるため目標を設定しました



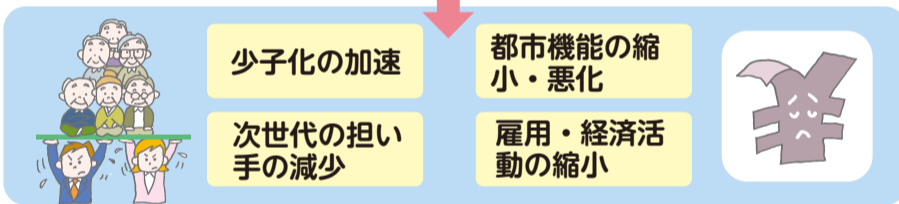
人口の将来目標 2040(令和22)年: 10万6,000人 ⇒ 13万8,000人
2060(令和42)年: 6万2,000人 ⇒ 12万6,000人

目指すべき将来の方向

人口減少に対応するためには、子どもを生み育てたいという希望を持つ若い世代に釧路に定着していただくことが最も重要であることから、総合戦略に掲げる施策を推進し、人口の将来目標の達成を目指します。



このまま人口減少が進むと、さまざまな影響が出てきます



2. 第2期総合戦略の概要(全体像)

第2期総合戦略とまちづくり基本構想

■第2期総合戦略では、まちづくりに係る各施策の最上位の指針である、「釧路市まちづくり基本構想」と整合を図り、目指すべきまちづくりの実現に向け、さまざまな施策を推進します。

最上位指針

釧路市まちづくり基本構想
2018(平成30)年度~2027(令和9)年度

人口減少対策

第2期
釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
2020(令和2)年度~2024(令和6)年度

目指すべきまちづくり

つながる まち・ひと・みらい
ひがし北海道の拠点都市・釧路

最優先課題

力強い経済基盤を構築し雇用の創出などを図ることにより、親になる世代を確保する

課題を解決するため、4つの基本目標を定めました

基本目標1

地域の魅力を生かして、経済・産業・交流人口・関係人口の拡大を目指す

基本目標3

地域が支え、安心して働ける環境をつくる

基本目標2

雇用・就業機会の創出と地域を支える人材育成・人材確保を図る

基本目標4

持続可能なまちをつくる

■詳しくは市ホームページをご覧ください。

☎https://www.city.kushiro.lg.jp/shisei/shisaku/chihouseusei/1004_00001.html

